

# 自己評価結果公表シート(令和2年度)

学校法人 服部天神宮学園 服部幼稚園

## 1 本園の教育目標

「感謝の心とやる気を育てる」ことを教育の目標として、次の幼児像「敬神感謝の心を持ったあたたかい子ども・意欲を持って学習や遊びに参加する子ども・友だちと仲良くしてよい習慣を身につけていく子ども・まわりのことがらに関心をもち表現を豊かにする子ども」を掲げ、のびのびとした保育に取り組む。

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもの特性を教職員が共通理解できる機会を増やし、個々の発達に合わせて対応できるように努める。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日々の保育や行事を綿密に計画し、実施するように努める。
- ・ICTシステムを導入し、子どもの姿や保育を可視化し、発信する。

## 3 評価項目と取組状況

評価項目	取り組み状況
安全管理の強化	新型コロナウイルスの流行で、やむなく4月から5月まで臨時休園、6月は分散登園、7月からようやく通常保育が始まり、あらゆる感染予防対策を徹底し、感染者を出すことがなく年度を終えることができた。
幼児への対応と教職員間の連携	新制度の施設型給付幼稚園に移行し、教職員の人数が増えたことにより、教職員間の連携を更に強化し、教職員全員が個々の子どもの特性を共通理解し、発達に合わせた対応に努めるよう園全体で取り組む事ができた。
ICTシステムの活用	ICTシステムを導入し、臨時休園期間の保育や、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止や縮小した行事を動画配信し、子どもの姿や保育内容を可視化し、発信することができた。保護者の方からの連絡等にも活用でき、業務を効率化することができた。
小学校との連携	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行われている連絡会は中止になったが、個別での訪問や電話連絡等で、就学前の情報交換をし、連携を図ることができた。
保育内容の充実	年度初めより臨時休園が続き、やむなく中止せざるを得なかった行事もあったが、日々の保育や行事を綿密に計画し、また感染予防対策を万全にして、子どもの育ちが豊かになるよう個々に丁寧に関わり、寄り添い保育内容を充実させた。

## 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度初めより休園し、休園期間の動画配信や保育内容を収録したDVDの作成、家庭での保育が長期化することで、登園に不安を感じる子どもへの配慮等、分散登園、通常保育になるまでの間、経験したことのない対応を教職員で話し合い取り組んだ。

また、幼児教育では3蜜を避けることは困難な中で、保育を試行錯誤しながら、子どもの育ちを大切に考え、実践した。

新制度に移行し、教職員数を充足することで、消毒等感染予防対策や保育内容も充実し、個々の子どもの発達を理解し、丁寧にかかわることができた。

## 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理の更なる強化	常時、新型コロナウイルス感染状況に対応し、感染予防対策を徹底し、子どもの育ちが豊かになるように、教職員で話し合い、連携を取り、実践する。
教職員の資質向上への取り組み	コロナ禍での教職員の学びの機会を保障し、研修(オンライン等)に参加する。また、年間を通して各クラスの研究保育を行い、子どもの特性を共通理解できる機会や保育の充実に努める。
ICTシステム活用の更なる充実	毎月、子どもの姿や保育内容を動画配信する。保護者の方に、より保育内容を理解して頂く機会を充実させる。

## 6 学校関係者評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、教職員が感染予防対策を徹底し、行事等話し合いを重ねた上で、できる限り実施している事が評価される。  
教職員の雇用も増員されたことにより、教職員が連携を取り、保育内容が更に充実されたと感じられる。

## 7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。



